

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。
競技規則TR5.2に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについてはTR5.2の適用を除外する。

2. 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

| | 本 競 技 場 | 補 助 競 技 場 |
|-----------|---------------|---------------|
| 9月15日 (木) | 13:00 ~ 17:00 | 13:00 ~ 17:00 |
| 16日 (金) | 7:30 ~ 8:40 | 7:00 ~ 18:00 |
| 17日 (土) | 7:30 ~ 8:50 | 7:00 ~ 18:30 |
| 18日 (日) | 7:30 ~ 8:50 | 7:00 ~ 15:00 |

(2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。

(3) 本競技場の芝生内への立ち入りは禁止する。補助競技場の芝生内ではスパイクシューズ、ラダー、ミニハードル、シートの使用を禁止する。

また、補助競技場でのハードル練習は各種目ごとに時間帯を設定する。

(4) 投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。なお、補助競技場横の指定された場所において、下記の時間帯に限りメディシンボール（ロープ付きを除く）を用いてのウォーミングアップを認める。

9/15 (木) 13:00~17:00

9/16 (金) 7:30~16:30

9/17 (土) 7:30~16:30

9/18 (日) 7:30~12:30

(5) 練習会場での練習は事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下の室内練習場に設ける。

(2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 手順

① 招集開始時刻に競技者の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り、両腰のやや後方に付けること。その際、アスリートビブス、スパイク、ランニングシューズの確認・点検を受ける。

② 点呼の代理人は認めない。但し、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集の前に本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラム巻末に綴込み）を提出し、併せて招集を受け、腰ナンバーを受け取っておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(5) リレー種目

① オーダー用紙は、各ラウンド（予選・準決勝・決勝）ともに、1組目の招集完了時刻の2時間前から1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。

オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

オーダー用紙の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(3)②に準ずる。

③ 4×400mの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため右側に、第4走者は両側に腰ナンバーカードをつける。

④ ユニフォームは、同型・同色を原則とする。

(6) 男子5000m・5000m競歩と、女子3000m・5000m競歩は別ビブスを使用する。

(7) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の誘導に従うこと。

(8) 止むなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、プログラム巻末の欠場届に必要な事項を記入し、競技者係（招集所）に提出すること。

4. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

- ① トラック競技の予選のレーン順、およびフィールド競技の決勝の試技順は、すべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、場内スクリーンに表示するとともに、兵庫県高体連陸上競技部WEBページに掲載する。
- ② トラック競技における次のラウンドへの進出者について
 - (ア) $(+\alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
 - ・レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の競技者の進出を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
 - (イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $(+\alpha)$ での進出者数を減らす。
 - (ウ) レーンを使用しない種目(800mを含む)
 - 同タイム(1/1000秒単位)の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ① 競技結果については場内アナウンスおよびスクリーンで発表するとともに 兵庫県高体連陸上競技部WEBページ上に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を正式発表とする。
- ② 当該種目出場者以外は競技エリア内に立ち入ることができない。
- ③ スパイクのピンの本数は11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- ④ アスリートビブスは配布された大きさのまま胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- ⑤ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- ⑥ $4 \times 100m$ のマーカ―は、主催者が準備し競技前に各コーナーで出発係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。
- ⑦ フィールド競技において、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
- ⑧ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑨ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

- (3) 男女5000m競歩は競技運営上の理由により、下記のタイムを超えて周回を残している場合はフィニッシュ地点で競技を中止させる。

男子5000m競歩 30分 女子5000m競歩 35分

- (4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

| | | | |
|--------|----|---------------|---------------------------------------|
| 男子 走高跳 | 1年 | 1m70・1m85 (練) | (競) 1m75-1m80-1m83… 以後 3cmずつ上げる |
| | 2年 | 1m75・1m90 (練) | (競) 1m80-1m85-1m88… 以後 3cmずつ上げる |
| 女子 走高跳 | 1年 | 1m44・1m56 (練) | (競) 1m47-1m50-1m53… 以後 3cmずつ上げる |
| | 2年 | 1m47・1m59 (練) | (競) 1m50-1m53-1m56… 以後 3cmずつ上げる |
| 男子 棒高跳 | 1年 | 3m20・4m00 (練) | (競) 3m40-3m50-3m60-3m70… 以後 10cmずつ上げる |
| | 2年 | 3m20・4m00 (練) | (競) 3m50-3m60-3m70-3m80… 以後 10cmずつ上げる |
| 女子 棒高跳 | 1年 | 2m10・3m00 (練) | (競) 2m20-2m30-2m40-2m50… 以後 10cmずつ上げる |
| | 2年 | 2m20・3m00 (練) | (競) 2m30-2m40-2m50-2m60… 以後 10cmずつ上げる |

*公式練習の高さについては選手の実力に応じて追加することができる。

*1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

5. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。競技終了後、競技場所で返却するので持ち帰ること。
検査時刻は、競技開始時刻の80分前～60分前までとし、フィニッシュ側の用器具庫で行う。

6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）から、所定の手続きをとるものとする。

7. 表彰について

- (1) 種目別3位までの表彰を行う。成績発表後直ちにメインスタンド1階中央ロビーの受賞者席に集合すること。（他種目に出場中の場合は代理人を出す）
リレー種目の4位から6位は、賞状をメインスタンド1階中央ロビーの表彰係まで受け取りに来ること。
- (2) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。
 - ① 総合3位までに入賞した学校（男子総合・女子総合・学年別男子総合・学年別女子総合）
 - ② 男女各学年の優秀競技者
 - ③ 男女各総合優勝校の顧問・監督

8. その他

- (1) 本競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。
- (2) テント、シート、横断幕、のぼりについて
 - ① メインスタンド2階コンコース、バックスタンド上段通路、サイドスタンド中段通路より上の座席、競技場外は、事前に各府県で割り当てられた場所を使用すること。指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。
 - ② メインスタンド2階コンコース（2階通路）は、シートのみとし、テントの設置は禁止する。
 - ③ バックスタンド（立入禁止部分を除く）、サイドスタンド中段通路より上の座席、競技場外はテントを設置してもよい。ただし、監視カメラに支障がある場合は、移動・撤去してもらう場合がある。
 - ④ 競技場外の割り当てられた場所以外の場所取りは一切禁止する。
 - ⑤ 競技場内に設営しているテント、シート等は毎日撤去し、持ち帰るか小さくまとめてその場所に置いて帰ってもよい。ただし、競技場外に荷物を置いて帰ることはできない。（破損、盗難等の責任は負わない）
 - ⑥ 横断幕は各府県で割り当てられた場所に設置すること。また、大会期間中設置したままでもよい。
 - ⑦ のぼりの設置は禁止する。
- (3) 感染防止に配慮し、声を出しての応援（ラップタイムの読み上げを含む）、集団での応援は禁止する。
また、フィールド競技中のトラック種目への一斉応援、トラック競技のスタート時における応援は慎むこと。なお、スタンド最前列及び中央通路での立ったままの応援は禁止する。
- (4) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (5) 感染防止のため更衣室の利用は短時間（5分程度）とし、シャワーの使用は禁止する。
- (6) 補助競技場内での日傘の使用は安全確保の観点から禁止する。
- (7) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずメインスタンド下通路・ダグアウトを使用すること。
また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
- (9) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。